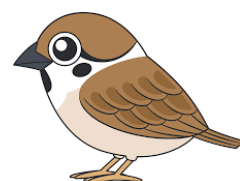


(家庭数配布)



まもなくお米が収穫できそうです。ところが！

5月に5年生が田植えをしたイネですが、その後順調に成長し、今は稲穂が垂れ下がくらいになりました。今月半ばにはお米が収穫できそうです。ところが！やはり心配していた問題が起こっています。スズメです。いつの頃からか、稲穂の先が白っぽくなってきていて、これってもしかして病気なの？と思っていたのですが、調べてみると原因はスズメでした。白い粒のお米ができるまでに、モミの中に白い液（デンプン）が溜まり、それが固くなってお米ができるのですが、この白い液がスズメにとっての大好物らしいのです。それをスズメが吸いに来ているのです。そして、この白い液を吸い取られたモミが枯れていたということです。一応、スズメよけとしてネットも張っていたのですが、ネットからはみ出した稲穂が被害に遭っていました。早速、ネットを少し上げ、スズメの被害に遭わないように対策はしましたので、一定量のお米は収穫できると思います。来年にはもっと改善する必要がありますね。



ボクも生きるために
必死です。

学校評議員会を行いました。

豊中市教育委員会により「学校評議員会は学校運営の状況等について説明するとともに、保護者や地域住民等が参加して多様な観点から意見交換を行うことにより学校に対する理解と信頼を深め、学校運営の改善に資することを目的に設置する。」と定められています。

緑地小では、コロナの影響でしばらく開催されていなかったようですが、様々な方のご意見を伺うことは大切だと考え、先日（8月26日）に今年度の第1回評議員会を行いました。まずは私からは学校教育目標や現状をお伝えし、その後、ご意見を賜りました。この場では、地域の皆様から今後の学校運営に有益な情報をいただくこともできました。今年度は年度末にもう一度行う予定にしております。

なお、今年度の評議員は、次の皆様をお願いしております。（敬称略）

個人名が表示されているため、ここでは掲載致しません。
掲載は紙媒体のみと致します。

「叱る・叱られる」について

誰にも「叱る（指導する）」立場になる時と「叱られる（指導される）」立場になる時があります。これについて述べます。

子どもたちが何かいけないことをしてしまった場合、私たち大人は叱ります。しかし、もし叱ったとしても「叱るのはその事実についてだけで、人格を否定してはいけません。」と、よく言われます。例えば「あなたは遅刻をしたね。ダメな人間だ。」について…、後半の「ダメな人間だ。」は絶対に言うべきではありません。これを言ってしまうと、子どもはやる気をなくします。これが「叱る（指導する）」時に気をつけなければならないことです。

一方、「叱られる（指導される）」時にも気をつけなければならないことがあります。それは「人を見てはいけない。」ということです。誰にでも叱られることはあると思います。しかし、その時に叱っている相手をどんな人間かを見てしまうと、叱られている中身を受け入れにくくなってしまいます。

その一例として、私の経験を紹介します。ずい分前のことになりますが、私と私の父の共通の知人がこんなことを言っていました。「若々しくなさい。謙虚になりなさい。」と。ところが、その人は当時たしか40歳くらいだったと思いますが、どう見ても60歳くらいに見えました。しかも、謙虚なところは微塵もなく、ひどく偉そうにする人だったのです。私は父に「あの人の言うことなんか、全然聞く気になれない。」と伝えました。すると、父親はこう返してきました。「でもな、あの人はええこと言ってるんやろ。それやったら、聞かんかったらお前が損するぞ。」と。それ以後、私はその人の言葉だけを自分のものにするのを心がけるようになりました。（なったつもりです。）

子どもたちにも、このことを学んでほしいと思っています。自分に対して注意してくる人（大人だけとは限りません。友だちの場合もあります。）に対して、「お前こそできてないやろ。」と安易に返してしまう場合があるのです。これ、せっかくのチャンスを逃してしまっていると思いませんか？注意してくれたことを素直に受け留め改善していけば自分が良くなることのできるのに、です。

結論！

「叱る時も叱られる時も気をつけましょう！」

ということです。

（私も気をつけていきたいと思います。）